

平成 27 年度 事 業 報 告

自 平成 27 年 4 月 1 日
至 平成 28 年 3 月 31 日

公益社団法人 自彊術普及会

I 【概 要】

サッカー場、劇場などを狙ったパリの爆発・銃撃事件、トルコ・イスタンブール、ベルギー・ブリュッセルの空港、地下鉄内爆破と相次ぐテロの脅威。近隣諸国を巻き込む中国の拡大主義や北朝鮮の不穏な動静。中国の景気減速の影響を受けた原油をはじめとする資源価格の低迷が資源輸出国を直撃し、世界的クラッシュの恐れが膨らみ始めており、2008 年から 8 年、ようやく立ち直りかけ、明るさの出てきたとされる国内経済にも影がさし始めているように思われる。このような状況が、私たちの社会・経済活動を不安定化しまた萎縮させる傾向にある上に、追い打ちをかけるように熊本地震が更なる不安を煽るに至っている。私たちは日頃より「自力自彊の精神」を養い、いかなる事態にも平常心を保持し、何事にも揺るぎのないリーダーとしての役割を担うことが期待されているのだ、ということを実感したいものと考えている。

本会会員は、いかなる環境にあろうとも自彊術によって自己の健康の維持・増進を図るだけでなく、その普及促進と啓発の活動を通し、国民の健康の維持・増進を図り国力の下支えをするのだ、しているのだとの自負と誇りをもって不断の努力を重ねている。特に、人生後半における生活を享受するための健康年齢の延長を目指し、激増する高齢者福祉予算の節減に少なからず貢献しているものと考えている。

平成 27 年度も「社会のための自彊術」という視点を持ち、各事業の遂行に努めて下さった各支部長以下全国の指導員そして本部職員の皆様々に感謝を申し上げる。

なお、平成 27 年度には、本会の活動の趣意を理解して入会した賛助会員は、55,730 名となり前年度比 1,550 名(約 2.9%)の増加となっており、本会の各事業活動は各支部長並びに指導者各位の社会に貢献しようとの情熱と使命感により順調に推移したものと考えている。

会 員	平成 27 年 3 月末	平成 28 年 3 月末	増 減
名誉会員	1	1	0
正 会 員	6 3 6	6 4 9	+ 1 3
賛助会員	5 4, 1 8 0	5 5, 7 3 0	+ 1, 5 5 0
合 計	5 4, 8 1 7	5 6, 3 8 0	+ 1, 5 6 3

II 【事業の内容】

公 1 普及促進事業

1、指導講習会の実施(定款第4条第1項(1))

本部主宰の講習会のほか中伝資格者以上の指導者が主宰する教場での講習会において、従前よりの教場に加えて平成27年度は下表の推移となった。

① 新設教室

指導者の増加に伴い前年度確定値比として新教場(111)が新設された。

新設教場増加数(初心者講習会を含む)							
	北海道	東北	関東	中部	関西	中国・四国・九州	合計
既存教室 H26 下期 (確定値)	55	237	2,474	645	649	439	4,499
H27 年度増減 (※速報値)	+4	+4	+59	+13	+17	+14	+111
計	59	241	2,533	658	666	453	4,610

※ 各支部長申告のデータより算出しています。

② 受託講習会

生涯教育としての「自彊術」の必要性の認識が高まり、地方公共団体・病院の主宰する講習会や、NHK・朝日・読売などの民間カルチャーセンターなどからの講師派遣依頼も増加した。

③ ボランティア活動

介護施設のデイケアに訪問し、参加者が可能とする運動を自彊術 31 動から抜粋して行う等の活動がなされた。

2、指導者養成及び資格・称号の授与(定款第4条第1項(2))

「自彊術」を後世に永くかつ正確に継承する為に、また安全かつ適切な指導による自彊術体操の普及を確保する為に、その原点である療法と体操を基礎から学ぶ研修会を実施し、その修練と研鑽による技量に応じて指導者資格を認定授与する。

(1) 指導者養成特別研修会(「指導者資格・称号の授与等に関する規程」第5条)

① 熱川研修会(自彊術体操の普及とその技術と精神の伝承を志し、自彊術普及会の中核指導者とならんとする者を養成することを目的とする。)

第 94 回	平成 27 年 4 月 10 日～12 日 指導者 師範 3 名・準師範 1 名・奥伝 4 名 受講対象者 中伝取得者、中伝を目指す者 計 130 名
第 95 回	平成 27 年 6 月 26 日～28 日 指導者 師範 3 名・奥伝 3 名 受講対象者 中伝取得者、中伝を目指す者 計 89 名

第 96 回	平成 27 年 10 月 23 日～25 日 指導者 師範 2 名・準師範 2 名・奥伝 2 名 受講対象者 中伝取得者、中伝を目指す者 計 79 名
--------	---

厳しい研修にもかかわらず、参加希望者は、その技術力・指導力の向上を目指している。

なお普及会本部では、全国規模で集合し研修を受けることにより、統一的な技術の維持確保及びその精神の伝承を図る、という非常に重要な研修会と位置づけており、研修内容も厳しいものになっている。

② シニア熱川研修会(65 歳以上の、指導者を目指す者を対象とした研修会を伊豆熱川で開催する。)

第 9 回	平成 27 年 10 月 21 日～23 日 指導者 師範 3 名・準師範 1 名・奥伝 4 名 受講対象者 65 歳以上の中伝取得者、中伝を目指す者 計 124 名
-------	---

指導者を目指す 65 歳以上の人を一堂に集め、自彊術の技術とその精神を正しく伝えるという目的で開催された。目的である指導技術の統一的伝承という成果は、十分に挙げ得たといえることができる。

③ 総支部指導者養成所研修会

指導者養成のために、本部並びに総支部に於いて年 10 回を 1 タームとする基準をもって実施する。

名 称	受講資格	実施場所	指導講師
東北 指導者養成所	初伝・中伝	福島県福島市置賜町 5 置賜会館	師 範 長谷場 京 他
関東 指導者養成所	初伝・中伝	東京都北区中里 2-13-1 本部道場	師 範 藤井真規子他
神奈川県 指導者養成所	初伝・中伝	東京都北区中里 2-13-1 本部道場	師 範 幸村恵美子他
中部 指導者養成所	初伝・中伝	愛知県名古屋市中区丸の内 2-5-10 アイリス愛知	師 範 永井 弘子 他
関西 指導者養成所	初伝・中伝	大阪府吹田市朝日町 1-401 さんくすホール	師 範 四本多美子他
九州・中国 指導者養成所	初伝・中伝	福岡県福岡市中央区天神 2-2-20 警固神社	師 範 久保 穎子 他
		福岡県北九州市小倉北古船場 1-6 菅原会館	

④ 地方特別研修会

各支部の中核となる指導者養成のために各支部の要請に応じ、年 1 回随時実施する。

平成 27 年度 地方特別研修会

No.	支部名	開催日				開催場所	実行委員長	講師	講師
1	東京北支部	4/4	土	4/5	日	本部道場	堤 恭子	猪狩正子	門倉久美子 佐藤美枝子
2	越谷・春日部・春日部北支部合同	4/21	火	4/22	水	本部道場	吉川 由美子	小篠幾代	矢嶋アキ子
3	石川県支部	5/9	土	5/10	日	石川県文教会館	木戸 外茂子	山尾慶子	成本紀子
4	埼玉地域合同 (川越・熊谷・東松山・所沢)	5/19	火	5/20	水	本部道場	佐藤 秀子	長岡勝美	越川幸子
5	甲府・立川支部合同	5/23	土	5/24	日	ハヶ岳ロイヤルホテル	遠藤 ゆり子	中島陽子	丹羽とも子
6	名古屋支部	5/23	土	5/24	日	アイリス愛知	永井 弘子	虫生一恵	三上博子
7	大阪府支部	5/23	土	5/24	日	パナソニックリゾート 大阪	綿田 美美枝	猪狩正子	富田節代
8	豊橋支部	5/27	水	5/28	木	静岡県浜松市 「KURETAKESO」	富田 節代	小林久美子	白須清子
9	名古屋中支部	5/28	木	5/29	金	アイリス愛知	森田 恵美子	四本多美子	片海喜美子
10	千葉県成田支部	6/2	火	6/3	水	本部道場	長岡 勝美	山尾慶子	都築チヨ子
11	三重県支部	6/6	土	6/7	日	ホテルグリーンパーク鈴鹿	奥野 敏子	田幡鈴美	成本紀子
12	大阪東・わかやま県支部合同	6/6	土	6/7	日	パナソニックリゾート 大阪	木村 嘉津子	宮本綾子	加藤由美子
13	東北総支部合同（福島・山形県・茨城県・宮城県北）	6/7	日	6/8	月	ホテル松島 大観荘	小原悦子	幸村恵美子	渡邊公子
14	千葉県柏支部	6/8	月	6/9	火	本部道場	久保田 元子	堀井恵子	鈴木すが子
15	千葉県・むさし野支部合同	6/23	火	6/24	水	本部道場	猪狩 正子	藤井靖子	大橋直子
16	千葉県流山・千葉県稲毛・大宮南支部合同	6/30	火	7/1	水	本部道場	遠藤 美代	幸村恵美子	松井陽子
17	兵庫県支部	7/4	土	7/5	日	須磨シーパル	四本 多美子	小林久美子	富田節代
18	札幌支部	7/11	土	7/12	日	全日空ホテル	玉置 百合子	吉川由美子	堤恭子
19	春日部南・立川朝日支部合同	7/21	火	7/22	水	本部道場	大塚 愛子	鎌上恭子	龍崎康江
20	大宮支部	7/28	火	7/29	水	本部道場	中島 陽子	山中節子	高原恵子
21	九州・中国総支部合同（福岡・北九州・山口・南九州・福岡南）	9/1	火	9/2	水	警固神社	宮本 綾子	虫生一恵	高木洋美
22	神奈川県総支部合同	9/15	火	9/16	水	本部道場	山中 節子	中島陽子	門倉久美子
23	静岡県支部	9/19	土	9/20	日	静岡県総合研修所もく せい会館	堀井 恵子	藤井靖子	斉藤克子
24	豊川・名古屋東支部合同	9/29	火	9/30	水	豊川市民プラザ	加藤 由美子	四本多美子	朝倉淑美
25	東京地域合同 (新宿朝日・千代田・練馬・板橋)	10/6	火	10/7	水	本部道場	白須 清子	久保田元子	大矢貴江
26	富士北麓支部	10/7	水	10/8	木	三ツ峠グリーンセンター	澤田 請子	鎌上恭子	—
27	京都府・奈良県支部合同	10/10	土	10/11	日	京都東寺内洛南会館	山尾 慶子	吉川由美子	須賀照子
28	滋賀県・京都洛中支部合同	10/31	土	11/1	日	アヤハレークサイドホテル	定行 伊佐子	幸村恵美子	長島正枝
29	小平支部	11/17	火	11/18	水	本部道場	安田 三千代	長岡勝美	小島恵子

(2) 上級指導者研修会(「指導者資格・称号の授与等に関する規程」第7条)

奥伝資格以上の指導者を対象とし、その指導技術、徳育(自彊術の精神)の更なる涵養を図り、後進指導者を養成する能力を培うと同時に、自彊術体操を日本の一文化として後世に伝承する気概を持つ人材を育成することを目的とする。

- ① 準師範等研修会(体操・療法についての技術、指導上の要点の確認をし、その結果を指導者養成特別研修会における研修に反映させることにより、指導の統一性を維持することを目的とする。)

箱根湯本：平成27年11月28日～29日

師範8名、準師範13名

② 奥伝研修会

- (i) 選抜奥伝研修会(将来、指導者養成特別研修会の講師となる者を養成することを目的とし、その候補者約30名は本部が選出する。)

平成27年4月14日、8月4日、10月20日、平成28年1月12日

- (ii) 奥伝会(広く奥伝資格者を対象とする。)

箱根湯本：平成27年11月29日～30日

師範8名、準師範13名、奥伝80名

③ 支部長研修会

本部道場：平成27年4月14日、8月4日、10月20日、平成28年1月12日

(3) 資格・称号の授与(定款第4条第1項(2))

免 状	年 度	月	人 数	小 計
初 伝	平成27年	4月	168名	
		7月	178名	
		10月	166名	
	平成28年	1月	213名	725名
中 伝	平成27年	8月	146名	146名
奥 伝	平成27年	6月	23名	23名
準師範	平成27年	6月	3名	3名
師範	平成27年	6月	5名	5名

地方区分別免状取得者分布は、下記のごとくとなった。

	北海道	東北	関東	中部	関西	中国四国 九州	合計
初伝	10	31	430	92	128	34	725
中伝	3	1	81	28	21	12	146
奥伝	0	0	14	1	3	5	23
準師範	0	0	3	0	0	0	3
師範	0	0	2	1	2	0	5

公 2 普及啓発事業

1、自彊術に関する調査研究(定款第 4 条第 1 項(3))

自彊術体操の日常生活に於ける有効性を実証することを目的に、10 月 23 日第 9 回シニア熱川研修会において研修参加者を対象に健康度測定調査を実施した。その結果、自彊術歴の違いにより多少の差はあるが、体操継続者の健康度は、各年代グループ毎の平均健康度をかなり上回ることが明らかになった。

2、自彊術に関する刊行物等の発行(定款第 4 条第 1 項(3))

①機関紙「自彊の友」の発行

毎月、近藤医学博士による「自彊術」の医学的根拠・効能に関する講義、受講者たちの体験談、普及活動の現状、免状取得者の氏名、事業計画の伝達等を掲載して自彊術体操の優秀性・合理性を社会に啓発することを目的とする。

本年度も引き続き「自彊術」の効用・会員の動向の関連記事を中心に編集した。平成 27 年度各号の主な記事は次の通りである。

4 月号 (470 号)

- ・マスコミに現れた自彊術 ～『夢 21』5 月号(わかさ出版)～
- ・東日本大震災 見舞金・義援金募金活動のお礼とご報告

5 月号 (471 号)

- ・温故知新 一大隈重信—
- ・平成 27 年 4 月 1 日附初伝取得者名簿 (168 名)
- ・近藤芳朗先生メモリアルレクチャー 何のために自彊術をやるのか？

6 月号 (472 号)

- ・台湾台北教室開講
- ・私のクラスの自慢したいカップル

7 月号 (473 号)

- ・公益社団法人自彊術普及会 第 5 回通常総会
- ・「心臓病の最新治療と『医の心』」①
(公財) 榊原記念病院循環器内科部長 長山雅俊先生(公開講演会)

8 月号 (474 号)

- ・奈良県支部設立 10 周年記念大会
- ・第 10 回札幌支部地方特別研修会 ～自彊術に感謝～
- ・「心臓病の最新治療と『医の心』」②(公開講演会)
- ・我がクラスの自慢したい先輩

9 月号 (475 号)

- ・健康誌出版界注目の自彊術 ～『健康』10 月号(主婦の友社)～
- ・平成 27 年 7 月 1 日附初伝取得者名簿 (178 名)

- ・「心臓病の最新治療と『医の心』」③（公開講演会）
- 10月号（476号）
 - ・サクセスフル・エイジングを目指して
 - ・平成27年8月15日附中伝取得者名簿（146名）
 - ・「心臓病の最新治療と『医の心』」④（公開講演会）
- 11月号（477号）
 - ・ワシントンに2人の中伝誕生
 - ・平成27年10月1日附初伝取得者名簿（166名）
 - ・「心臓病の最新治療と『医の心』」⑤（公開講演会）
- 12月号（478号）
 - ・春日部南支部設立10周年記念大会
 - ・心臓病の最新治療と『医の心』⑥（公開講演会）

- 1月号（479号）
 - ・謹賀新年 ～自彊術生誕100年の年です～
 - ・第22回奥伝研修会
 - ・『自彊術普及会四十年の歩み』の発刊に寄せて
会長 久保穎子
 - ・「心臓病の最新治療と『医の心』」⑦（公開講演会）
- 2月号（480号）
 - ・「国際交流祭 in ブダペスト」に参加して
 - ・「心臓病の最新治療と『医の心』」⑧（公開講演会）
- 3月号（481号）
 - ・豊橋支部30周年記念旅行
 - ・平成28年1月1日附初伝取得者名簿
 - ・「心臓病の最新治療と『医の心』」⑨（公開講演会）

②「リーフレット」の配布状況

リーフレットには、「自彊術」の歴史と効能・地域ごとの開催場所や主宰者名が記載されている。21,400部の配布となった。

③「自彊術の栞」の配布状況

栞には、「カリキュラム」「自彊術の心得」とともに、「入会に必要な事項」が記載されている。5,900部の配布となった。

3、webによる情報の公開(定款第4条第1項(3))

公益法人に要求される情報公開への対応及び社会への普及啓発のために、更なる充実を図り、本会に対する社会的信頼の形成に尽力する必要がある。

4、公開講演会の実施(定款第4条第1項(4))

一般の方々への普及啓発と会員の啓発を目的として、6月17日に(公財)榊原記念病院循環器内科医師 長山雅俊先生により「心臓病の最新治療と『医の心』」の演題で実施され好評を得た。

5、周年記念行事の実施(定款第4条第1項(4))

支部周年行事

- ・ 30周年 三重県支部
- ・ 10周年 春日部南支部 湘南支部 奈良県支部

6、海外文化交流の実施(定款第4条第1項(4))

①「国際交流祭 in ブダペスト」(NHK文化センター主催)への参加

平成27年11月26日～12月3日の日程で、ハンガリー国ブダペスト市に15名の指導員を派遣した。

本事業の目的は、(i)日本の一文化として自彊術を紹介すること。(ii)交流体験を通して指導者としての能力向上を図ること。(iii)異文化との触れ合いやその吸収により、本会の健全な発展に資すること。(iv)本会のイメージの向上を図ること等である。

②ワシントンDC教室に2人の「中伝」指導者が誕生

10月に、太平洋を越えて10,000kmのワシントンから指導者資格取得のために3年間に亘り研修会に参加された方2名に免状が届けられた。

7、近藤芳朗記念館における展示(定款第4条第1項(3))

自彊術体操の誕生・発展・衰退、そしてその復興の歴史に関する資料の収集と展示を通じて自彊術の技術的精神的優秀性を啓発することを目的とする。

- ・ 事務局就業時間中、一般の方も常時見学ができる。(要予約)
- ・ 入館料は無料
- ・ 本年度入館者数 535名

Ⅲ 【その他】

1、会議(定款第3章以下及び4章以下)

(1)総会・・・・・・・・・・ ○決算総会 平成27年6月17日 京王プラザホテル

議題：平成26年度事業報告・収支決算報告の承認及び監査報告

○予算総会 平成28年3月5日 北とぴあ

議題：平成28年度事業計画の承認

平成28年度収支予算の承認

(2)理事会・・・・・・・・・・ ○決算理事会 平成27年5月27日 北とぴあ

議題：平成26年度事業報告・収支決算報告の承認及び監査報告

○予算理事会 平成28年2月13日 本部道場

議題：平成28年度事業計画の承認

平成28年度収支予算の承認

(3)支部主催会議・・・・・・ 随時

本部よりの通達事項の遵守を目的に随時開催された。

2、東日本大震災に伴う見舞金義援金募金活動の実施

平成27年度も、全国の会員より応援のご厚志が寄せられ、その金額は約120万円の高額に上り、全壊・流失の重大な罹災をされた会員28名に対するお見舞金と足なが育英会津波遺児募金口への義援金として配賦がなされた。

3、マスコミに取り上げられた自彊術

・本部

(株)わかさ出版 『夢21』5月号(4月2日)

(株)BABジャパン 『サムライ・ボディワーク』(7月7日)

(株)主婦の友インフォス情報社 『健康』10月号(9月2日)

(公社)公益法人協会 『公益法人』11月号

・福島支部

ラジオFM会津(2月3日)

福島中央新報「二本松市大平女性講座」

・大宮支部

テレビ埼玉「埼玉県老人クラブの活動」(7月24日)

週刊長野「今月のトピック」(12月5日)

・千葉県柏支部

広報かしわ「介護予防講座」(4月1日号)

・練馬支部

ねりま区報「区民のひろば」(5月11日)

・富士北麓支部

ユーコープmio(1月号)

「心と体をもっと元気に！(健康体操『自彊術』でリフレッシュ)」

・春日部南支部

NPO法人「草の根ネットの会」健康らくらく講座

“日本最初の健康体操「自彊術」を体験しよう”

・東松山支部

鴻巣市市報「気軽にまじめに市長のオフサイト訪問」(4月7日)

・越谷支部

読売新聞 東武よみうり “やる気にスイッチ入る”(6月22日)

・春日部北支部

読売新聞 埼玉版「ほのぼの@タウン」(8月23日)

“健康体操で元気に”

・湘南支部

FMレディオ湘南(5月27日・28日)

・石川県支部

FM-N1(コミュニティFM放送局)(3月23日)

- ・滋賀県支部

NHK総合大津「関西のニュース」(10月24日号)

- ・北九州支部

テレQ九州放送「土曜の夜は！おとなテレビ」

平成 27 年度事業報告 付属明細書

平成 27 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行細則」第 34 条 3 項に規程する付属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成 28 年 5 月 21 日

公益社団法人 自彊術普及会

平成27年度 決算報告書

平成27年度 貸借対照表

平成28年3月31日現在

公益社団法人 自彊術普及会

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	157,354,690	137,569,874	19,784,816
未収金	668,300	816,151	-147,851
前払費用	9,627,965	1,058,314	8,569,651
流動資産合計	167,650,955	139,444,339	28,206,616
2 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	30,105,000	30,213,000	-108,000
基本財産合計	30,105,000	30,213,000	-108,000
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	23,000,000	22,000,000	1,000,000
減価償却引当資産	85,000,000	80,000,000	5,000,000
新自彊術会館建設積立資産	20,000,000	0	20,000,000
特定資産合計	128,000,000	102,000,000	26,000,000
(3) その他固定資産			
建物	350,709,492	350,709,492	0
建物附属設備	14,277,400	14,277,400	0
構築物	1,053,982	1,053,982	0
什器備品	8,448,482	8,448,482	0
土地	267,724,687	267,724,687	0
減価償却累計額	-108,998,617	-100,064,391	-8,934,226
ソフトウェア	476,700	476,700	0
電話加入権	72,800	72,800	0
商標権	2,438,175	2,438,175	0
保証金	20,000	20,000	0
その他固定資産合計	536,223,101	545,157,327	-8,934,226
固定資産合計	694,328,101	677,370,327	16,957,774
資産合計	861,979,056	816,814,666	45,164,390

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
Ⅱ 負債の部			
1 流動負債			
未払金	2,416,831	2,044,355	372,476
前受会費	50,557,040	43,739,000	6,818,040
預り金	554,273	499,368	54,905
流動負債合計	53,528,144	46,282,723	7,245,421
2 固定負債			
役員退職慰労引当金	24,670,000	22,398,000	2,272,000
職員退職引当金	744,080	0	744,080
固定負債合計	25,414,080	22,398,000	3,016,080
負債合計	78,942,224	68,680,723	10,261,501
Ⅲ 正味財産の部			
1 指定正味財産			
寄付金	30,000,000	30,000,000	0
指定正味財産合計	30,000,000	30,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(30,000,000)	(30,000,000)	(0)
2 一般正味財産			
一般正味財産	753,036,832	718,133,943	34,902,889
一般正味財産合計	753,036,832	718,133,943	34,902,889
(うち基本財産への充当額)	(105,000)	(213,000)	(-108,000)
(うち特定資産への充当額)	(105,000,000)	(80,000,000)	(25,000,000)
正味財産合計	783,036,832	748,133,943	34,902,889
負債及び正味財産合計	861,979,056	816,814,666	45,164,390

平成27年度 正味財産増減計算書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

公益社団法人 自彊術普及会

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	29,179	390,000	-360,821
② 特定資産運用益	25,347	22,700	2,647
③ 受取会費	173,917,000	167,839,500	6,077,500
正会員受取会費	6,570,000	6,390,000	180,000
賛助会員受取会費	167,347,000	161,449,500	5,897,500
④ 事業収益	98,203,005	102,164,306	-3,961,301
講習会等実施事業収益	13,094,765	12,129,106	965,659
指導者養成事業収益	66,364,840	68,986,000	-2,621,160
資格等授与事業収益	18,743,400	21,049,200	-2,305,800
⑤ 受取寄付金	1,218,000	335,000	883,000
受取寄付金	1,218,000	335,000	883,000
⑥ 雑収益	9,998,298	11,315,828	-1,317,530
総会・懇親会会費	9,544,000	9,594,000	-50,000
受取利息	33,108	8,448	24,660
その他雑収益	421,190	1,713,380	-1,292,190
経常収益計	283,390,829	282,067,334	1,323,495
(2) 経常費用			
① 事業費	200,537,372	196,141,231	4,396,141
役員報酬	25,470,630	27,913,050	-2,442,420
給料手当	21,430,694	18,358,703	3,071,991
臨時雇賃金	3,420,860	2,901,950	518,910
報酬謝金	27,916,723	26,687,300	1,229,423
役員退職慰労金繰入額	2,799,365	1,408,316	1,391,049
職員退職引当金繰入額	319,210	0	319,210
退職給付金	350,000	330,000	20,000
法定福利費	3,346,714	3,023,403	323,311
会議費	10,285,213	7,074,464	3,210,749
会場費	13,324,595	23,553,910	-10,229,315
旅費交通費	22,421,363	17,511,524	4,909,839
通信運搬費	8,303,964	8,034,643	269,321
減価償却費	7,032,276	7,222,212	-189,936
什器備品費	0	100,440	-100,440
消耗品費	4,378,269	3,380,822	997,447
修繕費	1,321,693	1,438,192	-116,499
印刷製本費	12,035,374	9,298,716	2,736,658
渉外費	409,357	672,817	-263,460
光熱水料費	1,492,979	1,564,653	-71,674
リース料	185,472	185,472	0
保険料	687,703	198,736	488,967
諸謝金	1,312,000	2,873,210	-1,561,210
租税公課	2,038,020	2,030,012	8,008
インターネット	105,612	72,032	33,580
支払手数料	216,704	202,786	13,918
委託費	2,316,400	2,950,630	-634,230

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
事務委託費	26,669,700	26,173,350	496,350
雑費	946,482	979,888	-33,406
② 管理費	47,950,568	42,650,610	5,299,958
役員報酬	10,089,370	10,396,950	-307,580
給料手当	5,574,848	3,935,958	1,638,890
臨時雇賃金	0	216,600	-216,600
役員退職慰労金繰入額	1,030,135	489,684	540,451
職員退職引当金繰入額	424,870	0	424,870
退職給付金	100,000	0	100,000
法定福利費	1,632,350	1,264,189	368,161
福利厚生費	469,556	212,353	257,203
会議費	8,575,417	8,998,779	-423,362
会場費	1,387,507	1,299,240	88,267
旅費交通費	1,023,804	1,165,253	-141,449
通勤費	913,440	624,780	288,660
通信運搬費	1,144,495	969,206	175,289
減価償却費	1,901,950	2,228,260	-326,310
什器備品費	962,728	1,030,548	-67,820
消耗品費	628,906	1,664,235	-1,035,329
修繕費	109,080	66,420	42,660
印刷製本費	333,301	225,828	107,473
渉外費	732,103	643,046	89,057
光熱水料費	538,478	548,039	-9,561
リース料	286,632	368,532	-81,900
保険料	28,334	28,228	106
諸謝金	20,000	125,469	-105,469
租税公課	6,147,680	2,335,038	3,812,642
支払寄付金	124,000	33,000	91,000
支払手数料	107,704	112,115	-4,411
委託費	3,010,068	2,968,080	41,988
雑費	653,812	700,780	-46,968
経常費用計	248,487,940	238,791,841	9,696,099
当期経常増減額	34,902,889	43,275,493	-8,372,604
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	34,902,889	43,275,493	-8,372,604
一般正味財産期首残高	718,133,943	674,858,450	43,275,493
一般正味財産期末残高	753,036,832	718,133,943	34,902,889
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	30,000,000	30,000,000	0
指定正味財産期末残高	30,000,000	30,000,000	0
III 正味財産期末残高	783,036,832	748,133,943	34,902,889

平成27年度 正味財産増減計算書内訳表

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

公益社団法人 自彊術普及会

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				法人会計	合 計
	普及促進事業 (公 1)	普及啓発事業(公 2)	共 通	小 計		
I 一般正味財産増減の部						
1 経常増減の部						
(1) 経常収益						
①基本財産運用益	0	0	29,179	29,179		29,179
②特定資産運用益	0	0	25,347	25,347		25,347
③受取会費	0	0	86,958,500	86,958,500	86,958,500	173,917,000
正会員受取会費	0	0	3,285,000	3,285,000	3,285,000	6,570,000
賛助会員受取会費	0	0	83,673,500	83,673,500	83,673,500	167,347,000
④事業収益	98,203,005	0	0	98,203,005	0	98,203,005
講習会等実施事業収益	13,094,765	0	0	13,094,765	0	13,094,765
指導者養成事業収益	66,364,840	0	0	66,364,840	0	66,364,840
資格等授与事業収益	18,743,400	0	0	18,743,400	0	18,743,400
⑤受取寄付金	0	0	1,218,000	1,218,000	0	1,218,000
受取寄付金	0	0	1,218,000	1,218,000	0	1,218,000
⑥雑収益	0	421,190	33,108	454,298	9,544,000	9,998,298
総会・懇親会会費	0	0	0	0	9,544,000	9,544,000
受取利息	0	0	33,108	33,108	0	33,108
雑収益	0	421,190	0	421,190	0	421,190
経常収益計	98,203,005	421,190	88,264,134	186,888,329	96,502,500	283,390,829
(2) 経常費用						
①事業費	132,284,454	68,252,918	0	200,537,372	0	200,537,372
役員報酬	18,662,460	6,808,170		25,470,630		25,470,630
給料手当	17,494,244	3,936,450		21,430,694		21,430,694
臨時雇賃金	3,318,360	102,500		3,420,860		3,420,860
報酬謝金	27,336,723	580,000		27,916,723		27,916,723
役員退職慰労金繰入額	2,037,294	762,071		2,799,365		2,799,365
職員退職引当金繰入額	288,703	30,507		319,210		319,210
退職給付金	350,000	0		350,000		350,000
法定福利費	2,536,344	810,370		3,346,714		3,346,714
会議費	9,458,007	827,206		10,285,213		10,285,213
会場費	12,880,388	444,207		13,324,595		13,324,595
旅費交通費	16,152,310	6,269,053		22,421,363		22,421,363
通信運搬費	2,040,909	6,263,055		8,303,964		8,303,964
減価償却費	5,456,865	1,575,411		7,032,276		7,032,276
什器備品費	0	0		0		0
消耗品費	3,059,116	1,319,153		4,378,269		4,378,269
修繕費	1,321,693	0		1,321,693		1,321,693
印刷製本費	1,006,522	11,028,852		12,035,374		12,035,374
渉外費	318,571	90,786		409,357		409,357
光熱水料費	1,275,365	217,614		1,492,979		1,492,979
リース料	139,104	46,368		185,472		185,472

科 目	公益目的事業会計				法人会計	合 計
	普及促進事業 (公 1)	普及啓発事業(公 2)	共 通	小 計		
保険料	372,960	314,743		687,703		687,703
諸謝金	90,000	1,222,000		1,312,000		1,312,000
租税公課	1,700,780	337,240		2,038,020		2,038,020
インターネット	0	105,612		105,612		105,612
支払手数料	209,362	7,342		216,704		216,704
委託費	2,200,400	116,000		2,316,400		2,316,400
事務委託費	1,833,000	24,836,700		26,669,700		26,669,700
雑費	744,974	201,508		946,482		946,482
②管理費	0	0	0	0	47,950,568	47,950,568
役員報酬					10,089,370	10,089,370
給料手当					5,574,848	5,574,848
臨時雇賃金					0	0
役員退職慰労金繰入額					1,030,135	1,030,135
職員退職引当金繰入額					424,870	424,870
退職給付金					100,000	100,000
法定福利費					1,632,350	1,632,350
福利厚生費					469,556	469,556
会議費					8,575,417	8,575,417
会場費					1,387,507	1,387,507
旅費交通費					1,023,804	1,023,804
通勤費					913,440	913,440
通信運搬費					1,144,495	1,144,495
減価償却費					1,901,950	1,901,950
什器備品費					962,728	962,728
消耗品費					628,906	628,906
修繕費					109,080	109,080
印刷製本費					333,301	333,301
渉外費					732,103	732,103
光熱水料費					538,478	538,478
リース料					286,632	286,632
保険料					28,334	28,334
諸謝金					20,000	20,000
租税公課					6,147,680	6,147,680
支払寄付金					124,000	124,000
支払手数料					107,704	107,704
委託費					3,010,068	3,010,068
雑費					653,812	653,812
経常費用計	132,284,454	68,252,918	0	200,537,372	47,950,568	248,487,940
当期経常増減額	-34,081,449	-67,831,728	88,264,134	-13,649,043	48,551,932	34,902,889
2 経常外増減の部						
(1)経常外収益						
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2)経常外費用						
経常外費用計	0	0	0	0	0	0

科 目	公益目的事業会計				法人会計	合 計
	普及促進事業 (公 1)	普及啓発事業(公 2)	共 通	小 計		
当期經常外増減額	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	13,649,043	13,649,043	-13,649,043	0
当期一般正味財産増減額	-34,081,449	-67,831,728	101,913,177	0	34,902,889	34,902,889
一般正味財産期首残高				509,375,617	208,758,326	718,133,943
一般正味財産期末残高				509,375,617	243,661,215	753,036,832
Ⅱ 指定正味財産増減の部						
当期指定正味財産増減額				0	0	0
指定正味財産期首残高				30,000,000	0	30,000,000
指定正味財産期末残高				30,000,000	0	30,000,000
Ⅲ 正味財産期末残高				539,375,617	243,661,215	783,036,832

平成27年度 財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

- (1) 投資有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券について、償却原価法は重要性が乏しいため採用していない。
- (2) 固定資産の減価償却方法
 - ① 有形固定資産
建物については、定額法によっている。
建物附属設備、構築物及び什器備品については、定率法によっている。
 - ② 無形固定資産
定額法によっている。
- (3) 役員退職慰労引当金の計上基準
役員の退職手当の支払いに充てるため規定に基づく期末要支給額を計上している。
- (4) 職員退職引当金の計上基準
職員に対する退職金の支払いに備えるため規定に基づく期末要支給額を計上している。
- (5) 消費税等の会計処理
税込方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額とその残高

基本財産及び特定資産の増減額とその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	30,213,000	105,000	213,000	30,105,000
小計	30,213,000	105,000	213,000	30,105,000
特定資産				
退職給付引当資産	22,000,000	2,557,500	1,557,500	23,000,000
減価償却引当資産	80,000,000	5,000,000	0	85,000,000
新自彊術会館建設積立資産	0	20,000,000	0	20,000,000
小計	102,000,000	27,557,500	1,557,500	128,000,000
合 計	132,213,000	27,662,500	1,770,500	158,105,000

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当)	(うち一般正味財産からの充当)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
投資有価証券	30,105,000	(30,000,000)	(105,000)	(-)
小計	30,105,000	(30,000,000)	(105,000)	(-)
特定資産				
退職給付引当資産	23,000,000	(-)	(-)	(23,000,000)
減価償却引当資産	85,000,000	(-)	(85,000,000)	(-)
新自彊術会館建設積立資産	20,000,000	(-)	(20,000,000)	(-)
小計	128,000,000	(-)	(105,000,000)	(23,000,000)
合 計	158,105,000	(30,000,000)	(105,105,000)	(23,000,000)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	350,709,492	93,975,109	256,734,383
建物附属設備	14,277,400	7,480,999	6,796,401
構築物	1,053,982	521,321	532,661
什器備品	8,448,482	5,138,247	3,310,235
商標権	2,438,175	1,406,241	1,031,934
ソフトウェア	476,700	476,700	0
合 計	377,404,231	108,998,617	268,405,614

5 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価および評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価および評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	帳簿価格	時価	評価損益
第339回利付国債(10年)	30,105,000	31,497,000	1,392,000
合 計	30,105,000	31,497,000	1,392,000

6 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引の内容は、次のとおりである。

属性	法人等の名称	住所	資産総額(単位円)	事業の内容	議決権の所有割合
役員の 近親者	(株)ブン企画	福岡県筑紫野市 針摺中央二丁 目2-32	8,852,844	映像ソフト、書籍等 の製作と研修用備 品の販売	なし

関係内容		取引の内容	取引金額(単位円)	科目	期末残高(単位円)
役員兼務等	事業上の関係				
なし	役務の受入	百年祭記念品	7,130,000	前払費用	7,130,000
		熱川研修会用備品	565,000	消耗品費	0
		本部用備品	60,000	消耗品費	0
		合 計	7,755,000		7,130,000

取引条件及び取引条件の決定方針等

映像ソフト、書籍等及び研修用備品の発注については、他社から複数の見積り入手し、市場の実勢価格を考慮し、発注先及価格を決定している。

7 支部組織の会計の合計

平成20年度より支部組織の会計を合計表示している。

支部が独立した会計単位となっていないため本部が支部からの会計資料を基礎にして決算を行い、本部会計と合計している。

8 引当金の明細

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
役員退職慰労引当金	22,398,000	3,829,500	1,557,500	0	24,670,000
職員退職引当金	0	744,080	0	0	744,080

平成27年度 財産目録

平成28年3月31日現在

公益社団法人 自彊術普及会

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金	・手元保管(本部)	運転資金として	321,396
		・手元保管(各支部・62口)	運転資金として	5,760,423
			＜現金計＞	6,081,819
	預金	・城北信用金庫駒込支店	運転資金として	37,081,608
		・三菱東京UFJ銀行駒込支店	運転資金として	5,444,758
		・ゆうちょ銀行中里支店	運転資金として	12,790,060
		・ゆうちょ銀行支部口座(62口)	運転資金として	60,175,078
			＜普通預金計＞	115,491,504
		・ゆうちょ銀行中里郵便局	運転資金として (026471)	35,674,399
		・ゆうちょ銀行王子郵便局	運転資金として (687874)	96,968
	未収金 前払費用	・ゆうちょ銀行中里郵便局	支援金として (417841)	10,000
			＜振替預金計＞	35,781,367
		・講師料等の未収額	普及促進事業に供する講師料等の未収分	668,300
・百年祭記念品代		百年祭記念品代の前払分	7,130,000	
	・百年祭会場費等	百年祭会場費等の前払分	1,385,653	
	・火災保険料等前払費用額	公益目的事業及び管理業務の用に供する前払費用	1,112,312	
		＜その他計＞	10,296,265	
流動資産合計			167,650,955	
(固定資産)				
基本財産	投資有価証券	・第339回利付国債	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している。	30,105,000
			＜基本財産計＞	30,105,000
特定資産	退職給付引当資産	・定期預金	負債(退職給付引当金)に対応して引当された資産	15,000,000
		・普通預金 三菱東京UFJ銀行駒込支店	負債(退職給付引当金)に対応して引当された資産	8,000,000
	減価償却引当資産	・定期預金 三菱東京UFJ銀行駒込支店	減価償却累計額に対応して引当された資産	85,000,000
	新自彊術会館建設 積立資産	・定期預金 三菱東京UFJ銀行駒込支店	新自彊術会館建設目的のために積立られた資産	20,000,000
			＜特定資産計＞	128,000,000
その他固定 資産	建物	・会館 北区中里二丁目14	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、共用割合は66%:34%である。	39,023,271
	建物	・道場 北区中里二丁目12	公益目的事業の用に供しており、共用割合は100%である。	146,455,458
	建物(工事)	・資料館及び会館内装工事 北区中里二丁目14	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、共用割合は82%:18%である。	12,623,073
	建物	・第二道場 北区中里二丁目14	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、共用割合は80%:20%である。	46,009,189
	建物(改修工事)	・資料館及び事務所の改修工事 北区中里二丁目14	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、共用割合は100%:0%及び0%:100%である。	5,612,851
	建物(補修工事)	・道場の外部補修工事 北区中里二丁目12	公益目的事業の用に供しており、共用割合は100%である。	7,010,541
			＜建物計＞	256,734,383
	建物附属設備	・会館2階の空調・電気・昇降 設置工事	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、共用割合は50%:50%	528,980
		・道場・会館の看板交換工事	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、共用割合は76%:24%	95,129

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
	構築物	・第二道場の電気・ガス・給排水・冷暖房等設備工事	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、共用割合は80%:20%	2,816,670
		・会館2F設備・電気・照明工事	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、共用割合は、0%:100%	3,091,528
		・会館3F電気工事・ミニキッチン	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、共用割合は、100%:0%	264,094
			<建物附属設備計>	6,796,401
		・第二道場の舗装・排水工事、ネットフェンス・電動門扉	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、共用割合は80%:20%である。	532,661
	什器備品		<構築物計>	532,661
		・家具	公益目的事業、管理業務の共用割合22%:78%	114,968
		・コンピューターサーバー	公益目的事業、管理業務の共用割合22%:78%	1
		・組込金庫	公益目的事業、管理業務の共用割合22%:78%	97,372
		・第二道場の電話設備・共同視聴装置	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、共用割合は80%:20%	51,488
		・第二道場のインターフォン設備工事	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、共用割合は80%:20%	21,593
		・絵画	管理業務の用に100%供している。	1,350,000
		・会館2Fエアコン・ブラインド	管理業務の用に100%供している。	478,732
		・会館1Fエアコン	公益目的事業の用に100%供している。	560,671
		・会館3Fエアコン・換気扇	公益目的事業の用に100%供している。	74,033
		・会館3F事務机・応接セット	管理業務の用に100%供している。	561,377
			<什器備品計>	3,310,235
	土地	・95. 70㎡(会館)	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、共用割合は66%:34%である。	66,453,187
	土地	・131. 23㎡(道場)	公益目的事業に供しており、共用割合は100%である。	109,410,000
	土地	・116. 68㎡(第二道場)	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、共用割合は80%:20%	91,861,500
			<土地計>	267,724,687
	商標権	・自彊術に関する日本・中国・台湾の商標権	公益目的事業の用に供しており、共有割合は100%である。	1,031,934
	ソフトウェア	・法人会計ソフト	管理業務の用に100%供している。	0
	電話加入権		公益目的事業の用に100%供している。	72,800
	保証金	・警備保障会社契約保証金	管理業務の用に100%供している。	20,000
			<その他計>	1,124,734
固定資産合計				694,328,101
資産合計				861,979,056
(流動負債)	未払金	・印刷製本費	月刊機関紙印刷代等の未払い額	1,646,397
		・郵便事業	3月分後納郵便代	73,575
		・北社会保険事務所	3月厚生年金保険料他	381,599
		・月一会講師料・交通費	本部、九州・中国総支部研修会講師料・交通費	266,660
		・レグルス	1～3月分webサイト更新保守作業	48,600
			<未払金>	2,416,831
	前受会費	・土曜教室月謝	本部道場土曜教室月謝	372,000
		・賛助会費	平成28年度賛助会費の前受会費	38,622,000
		・研修会費	第97回熱川研修会の研修会費	3,529,440
		・研修会費	本部道場研修会費	8,013,600

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
	預り金	・関西情報専門学校他 ・王子税務署 ・ ・豊島区役所他	平成28年度団体会費 ＜前受会費＞ 28年3月分 給与分源泉所得税 28年3月分 204条源泉所得税 28年3月分住民税 雇用保険料他 ＜預り金＞	20,000 50,557,040 238,418 17,357 201,600 96,898 554,273
流動負債合計				53,528,144
(固定負債)	役員退職慰労引当金	・役員退職慰労引当金	常勤役員の退職慰労金の引当金 ＜役員退職慰労引当金＞	24,670,000 24,670,000
	職員退職引当金	・職員退職引当金	職員退職金の引当金 ＜職員退職引当金＞	744,080 744,080
固定負債合計				25,414,080
負債合計				78,942,224
正味財産				783,036,832

監査報告書

平成 28 年 5 月 18 日

公益社団法人 自彊術普及会
代表理事 久保 穎子 殿

監 事 飯森 和也



監 事 平野 晶己



私たちは、平成27年4月1日から平成28年3月31日までの平成27年度における会計および業務の監査を行い、次のとおり報告する。

1 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について理事からの報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討した。

2 監査意見

- (1) 貸借対照表、正味財産増減計算書及び正味財産増減計算書内訳表並びに財産目録は、会計帳簿の金額と一致し、法人の収支状況及び財政状態を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は真実であると認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

以上